

Doc.No : NR020206-2

2002年2月6日

品質管理システムを搭載した新デジタルイメージングシステム 「TruePress544 Advance」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、印刷品質管理システムを搭載した新デジタルイメージングシステム「TruePress544 Advance(トゥループレス544アドバンス)」を開発し、2002年2月6日から販売します。

「TruePress544 Advance」は、印刷中のインキベタ濃度、湿し水量をリアルタイムにモニタリングし、最適なタイミングでインキ供給をコントロールする新開発の「TrueFit Advance(トゥルーフィットアドバンス)機能」の搭載により、印刷品質のデジタル管理を実現した新しいタイプのデジタル印刷機。水あり印刷で、オフセット印刷機に近い高品質を実現し、艶のある絵柄品質を得られるのが特長です。また、アドビCPSIを搭載したハイパフォーマンスコントローラーの採用や見当合わせ不要、連続給水式湿し水(モルトンレス)、自動ブランケット洗浄、印圧自動調整、自動給排版と可能な限りの自動化機構に対応しています。

TrueFit Advance機能

印刷品質を決める紙面上のインキ濃度と湿し水をインラインセンサーでリアルタイムにモニタリングし、インキ供給をコントロールする印刷品質管理システム。品質情報をリアルタイムにグラフ表示するとともに、保存した履歴から印刷条件や濃度などを再印刷時に利用でき、素早い印刷刷り出しが可能です。

特長

- ・リアルタイムにモニタリング&フィードバック
印刷中のベタ濃度と湿し水量をインラインセンサーによってリアルタイムにモニタリング。目標濃度と現状濃度の差を比較して、最適なタイミングでインキをコントロールします。モニタリングの間隔は最少5枚から。オペレーターの負担を大幅に軽減し、濃度バランスを均一に保ちます。また導入後、素早い立ち上げが可能です。
- ・印刷品質の安定化
インキ濃度を数値管理することにより、印刷機の安定稼働と品質維持を可能にします。さらに、刷り出しの短縮とともに損紙を低減し、生産性向上、コスト削減を実現します。
- ・刷り出しの短縮
印刷中のベタ濃度をリアルタイムに管理できることにより、設定枚数の印刷を終了した時点で、インキローラーを次のジョブに最適な状態に準備する機能を実現。許容範囲内で濃度を下げながら印刷を終了させ、インキローラー群のインキ保有量を最小限にして、次のジョブでの刷り出しを最短とします。印刷終了後に追加用紙を通したり、余分にインキ保有量を減らす必要がなく、経済性に優れています。
- ・履歴の保存
ジョブ履歴や濃度などの品質情報をシステムが管理。過去の印刷条件や濃度履歴が保存できるため、再印刷時に同一条件を再現可能。また、若干条件を変更した印刷にも対応します。印刷後の濃度データが保存でき、正確なデータとして印刷管理情報を明示でき、信頼度の高い印刷品質を提供できます。

< 発売予定 >	2002年2月6日
< 参考価格 >	5,900万円
< 販売台数 >	年間 50台



TruePress544 Advance

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀南通寺之内上ル4丁目